

花の里づくりの会

第22号会報 2026年5月 発行



第14回記念樹《令和7年11月実期》

クロガネモチ (撮影：小松賢吉氏)

科：モチノキ科 属：モチノキ属

和名：クロガネモチ

英名：Round Leaf Holly

原産地：東アジア～東南アジア地域 開花期：5～6月ごろ

モチノキ科モチノキ属の常緑中高木。日本の本州（茨城県・福井県以西）・四国・九州・琉球列島に産し、日本国外では台湾・中国・インドシナまで分布する。暖地から亜熱帯のやや気温の高い地域の山野に生え、日なたから半日陰地を好み、やや日陰地にも生える。

比較的都市環境にも耐えることから、公園樹、あるいは街路樹として植えられる。実の赤さはモチノキよりも際立って見える。樹勢が強いことから、生け垣にも仕立てやすい。「クロガネモチ」が「金持ち」に通じるから縁起木として庭木として好まれる地域もある。西日本では野鳥が種を運び、庭等に野生えすることがある。



花の里づくりの会
会長 米山 幸



ごあいさつ

さて本会の活動も早いもので、今年で22年を迎えることになりました。昨年の11月には横浜市から当会の活動に対して横浜市環境活動賞の市民の部「実践賞」を受賞いたしました。これは会員の皆様の御支援と地域の皆様のご協力のおかげだと役員一同感謝申し上げます。

毎年のことですが、昨年も新羽地区内のお寺さんに花苗、球根、花木を提供し植えていただきました。近隣の皆様の憩いの場所として楽しんでいただけると幸いです。

今年も2月26日に新羽丘陵公園にて新羽小学校卒業記念の植樹祭が開催されました。今年の記念樹は卒業生の希望でスモークツリーを提供させていただきました。小学校を巣立つ卒業生の思い出になれば大変ありがたいです。植樹祭にはご多忙の時期に、ご臨席いただきました港北区長、港北土木事務所長はじめ、関係者の皆様、地域の皆様には厚く御礼申し上げます。

本会は新羽高等学校、新羽ケアプラザ、新羽の未来を作る会、新羽丘陵公園等にも花苗を提供し支援を継続しています。会員の皆様、地域の皆様には日頃より本会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。これからも「花の里づくりの会」の継続的活動にご支援、ご協力お願い申し上げます。



初代会長（中山 宏氏）と

2025 年度の植栽及び事業実績

- ◆新羽丘陵公園◆ 丘陵公園の花壇の植栽に補助
- ◆県立新羽高等学校◆ 通学路の美化整備の花の苗の協力 5月、11月
- ◆市立新羽小学校◆ 卒業記念樹 スモークツリー 1本
- ◆光明寺◆ ヒガンバナ 赤 100 球、 フリージア 黄 100 球、 サフラン 100 球、
クリスマスローズ 20 株、 レンギョウ 20 株
- ◆西方寺◆ ヒガンバナ 赤 300 球、 ヒガンバナ 黄 200 球、 ヒガンバナ 白 100 球、
ミモザ 2 本
- ◆善教寺◆ ツバキ 5 本、 クルメツツジ 5 本、 ヤマモミジ 5 本、 なんじゃもんじゃ 1 本
- ◆蓮華寺◆ ニホンスイセン 50 球、 ヒガンバナ 赤 50 球、 ヒガンバナ 黄 50 球、
- ◆専念寺◆ ブルーサルビア 280 株、 ペチュニア 280 株、 ニチニチソウ 140 株
ユーホルビア 100 株、 ペンタス 70 株、 パンジー 200 株
- ◆北杉山神社◆ ハボタン 30 株
- ◆新羽未来の会◆ 春 80 株・秋 80 株 花苗提供
- ◆新羽ケアプラザ◆ マリーゴールド

2026 年度の植栽及び事業計画

- ◆新羽丘陵公園◆ 丘陵公園の花壇の植栽に補助
- ◆県立新羽高等学校◆ 通学路の美化整備の花の苗の協力 5月、11月
- ◆市立新羽小学校◆ 卒業記念樹 未定 1本
- ◆光明寺◆ ニチニチソウ 20 株、 ポーチュラカ 20 株、 千日紅 20 株
パンジー 20 株、 シャクナゲ 10 株
- ◆西方寺◆ ヒガンバナ 黄 300 球、 ヒガンバナ 白 200 球、 ハギ 赤 5 株
イロハモミジ 1 本、 ミモザ 1 本
- ◆善教寺◆ ツバキ 3 本、 ヤマモミジ 3 本
- ◆蓮華寺◆ クリスマスローズ 5 株、 シャクヤク 5 株
- ◆専念寺◆ ブルーサルビア 140 株、 ペチュニア 140 株、 ニチニチソウ 70 株
ユーホルビア 50 株、 ペンタス 35 株、 パンジー 200 株
- ◆北杉山神社◆ ハボタン 20 株、 ガーデンシクラメン 20 株、 フクジュソウ 20 株
- ◆新羽未来の会◆ 春・秋 花苗提供
- ◆新羽ケアプラザ◆ マリーゴールド
- ◆その他◆ 枯れた木などの補植

善教寺

横浜市港北区新羽町 2396番地
TEL (045) 541-7684



しだれ桜3月



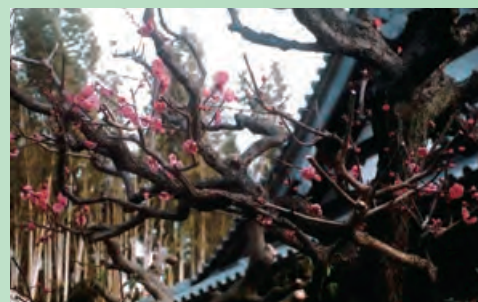
ボケ2月



なんじゃもんじゃ6月~7月



紅梅1月



牡丹4月



バイモ4月



西方寺

横浜市港北区新羽町 2586番地
TEL (045) 531-2370



彼岸花 9月



クリスマスローズ 4月



ミツマタ 3月



ミモザ 3月



モクレン 3月



光明寺

横浜市港北区新羽町3990番地
TEL (045) 591-0590



キンカバイ 6月



モクレン 3月



ヤマブキ 5月



ユキヤナギ 3月



カイドウ 4月



フジ 5月



蓮華寺

横浜市港北区新羽町3952番地
TEL (045) 591-0220



アジサイ 6月



ヤマブキ 5月



モクレン 4月



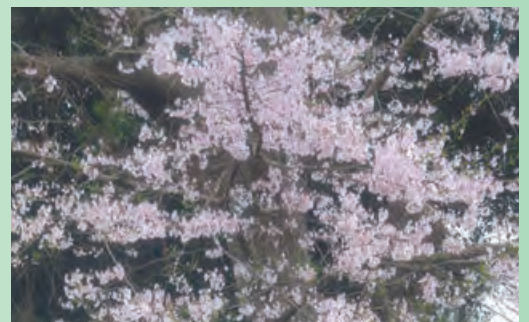
サルスベリ 7月



ユキヤナギ 3月



桜 4月



専念寺

横浜市港北区新羽町 1578番地
TEL (045) 531-1518



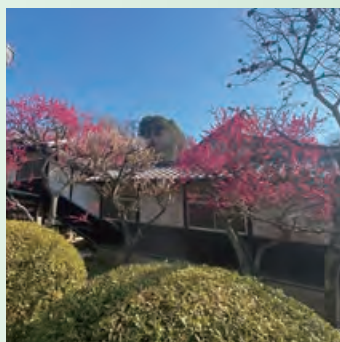
花桃 3月



夏花壇



梅 1月



桜 3月



牡丹 4月



蓮 7月





「花の里づくりの会」の発足時（平成 16 年 4 月）に「村の人々が集う神社仏閣に其々特色の有る花木を植えようじゃないか」という当時の発起人の方々の提案で第一回の配布花木リストの一番最初に掲載されたのが「ヒマラヤ桜」でした。

「ヒマラヤ桜」は一本のかわいらしい頼りないくらいの細さでした。植栽してからなかなか太くならず、伸びかけた木も枯れてしまったのかと思われました。植栽したものが何という名の樹であったのかもほとんどの人の記憶からはなくなっておりました。

そうして、いつの間にか根元で二股に分かれている太い樹になったのですが、神社の法（のり）に植えられた「ヒマラヤ桜」はひとり葉を茂らせていきました。が、道路を歩く人の目線には入らない位置なので人の口にも上らない雑木のような存在でした。

そのうち、時季外れの桜のような花が咲き始め、「これは何だ？」という言葉が少しずつ人々の口から出始めました。

植樹して 20 余年が経ちました。その年によって多少の違いはあれど、11 月の声を聞く辺りから花芽をつけ始めるようになりました。そうして、ひと月あまり道行く人の頭上に大きな花の一本桜が咲いています。地域版のフリーペーパーに紹介されてからは、わざわざ時期外れの桜を見に来られる方が増えてきました。

令和 8 年（2026）の初詣に参詣者の出迎えを、と考えていたとき、花の里からお花が頂けるという話が耳に入りました。

たまたま、大王松を切り倒すという方がおられたので葉ボタン 30 鉢と共に飾ってみました。

参詣される人々にも好評のようでした。





6年1組



スモークツリーにこめた思い

小針 颯太

丘陵公園にはたくさんの方が植えてあり、先輩たちが植えた木がいまだに生き生きとしていました。今回公園愛護会の方たちの協力のもと植樹をした、ぼくたちの、スモークツリーがこの先ずっと丘陵公園に残ることが嬉しかったです。

このスモークツリーがここからどこまで大きくなるのかとても楽しみです。スモークツリーを植えました。恐らく僕たちと同じように成長していくと思うと、何だかもう嬉しい気持ちになります。大人になって、丘陵公園に植えられているスモークツリーを見れば、昔のことが蘇ってくると思います。ぼくが成長するとともに、スモークツリーを見守ってあげたいです。

僕はこのスモークツリーを植えたことは、僕の一生忘れない「宝物」です。





6年2組



卒業しても思い出が残る植樹は、素敵だと思 いました。本当にありがとうございました。										五月に花が咲く、ということなので、そのこ ろにまた見に行きたいと思えます。そして、 スモークツリーの成長とともに、自分も成長 していこうと思えます。										植樹体験をして 卯野 祥太郎									
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--





港北区長 竹下 幸紀



新羽小学校6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが健やかに成長し、卒業記念の植樹式を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

この植樹式は、今年で21回目を迎えます。これまで50本以上の樹木が植えられており、皆さんが生まれる前から、先輩の卒業生が植え続けてきたものです。長い年月を重ねながら、木々はしっかり根を張り、この地を守り続けています。

今回皆さんが植える「スモークツリー」は、新羽の地で育った樹木です。この木も、他の樹木と同じように、この地に根を張り、小中学生や地域の方たちを見守ってくれると思います。

これから皆さんは、大きく成長して様々な世界へ羽ばたいて行くでしょう。そんな中でも、この地に戻ってきた時は、今日植えたこの木に声をかけ、成長を確かめ、感謝していただけたら嬉しく思います。

また、植樹式の開催にあたっては、先生方をはじめ、多くの地域の皆さまのご協力があります。20年以上も継続しているのは新羽地区だけです。

どうか、これからは、皆さん自身が「地域のために自分で何ができるか」を考えて見てください。特に防災では、皆さんの力がとても重要です。今度は、皆さんが助ける番になってくれることを期待しています。



新羽の丘に咲く

新羽小学校 校長 佐藤 恵子



春の気配を感じる季節、卒業を控えた6年生とともに新羽丘陵公園を訪れました。2月26日、丘陵公園での最後の学習です。

新羽小に入学してから今日まで、丘陵公園は子どもたちにとって大切な学習の場所でした。四季の移ろいを感じ、地域づくりについて考え、ふるさとやこれから広がる未来に思いをめぐらせるなど、教室だけでは得られない学びが数多くありました。また、四季折々の花々、風、空、そして匂いのすべてが心の栄養となり、多くの方々への感謝と謙虚な気持ちを育む心の拠り所でもありました。

6年間の感謝の思いを込め、子どもたちは一本の苗木をみんなの手で植樹します。6年生が選んだ木はスモークツリーです。これからこの丘で、子どもたちの未来を静かに見守ってくれることでしょう。緑豊かな新羽のまちづくりに、卒業記念植樹というかたちで参加できることを大変光栄に思います。6年生にとって、自分たちが育ったまちに感謝を伝える貴重な機会となりました。

毎年ご尽力いただいている花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会をはじめ、関係機関の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げますとともに、これからも卒業生の成長を温かく見守り、支えていただきますようお願い申し上げます。

県立新羽高等学校の緑化活動

今年度も春と秋の年2回、環境整備委員会の生徒が中心となって正門前と正門左手の植え込みや生徒昇降口正面に花の苗を植栽しました。柔らかに土おこしたプランターに、優しい手つきでひとつひとつ大切に苗を植えていく生徒たちの笑顔は、とても生き生きとしたものでした。また、今年も暑い日が続いておりましたが、色とりどりの可愛らしい花々が暑さに負けないよう、当番を決めて水やりを行い、大切に守り育てることで、学校全体で緑化活動を推進する雰囲気が醸成されました。活動を通して、ひとりひとりの心の中にある美しい種も大きく生長していくことでしょう。あらためて「花の里づくりの会」の皆様の活動とご支援に感謝申し上げます。

今後も本校では、緑化活動の取り組みを通して、新羽地域の華やぎのあるまちづくりに参画して参ります。地域の皆様にも色鮮やかな花々ととともに、子どもたちの成長も温かく見守っていただけますと大変嬉しく思います。本校の教育活動につきましても、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

2025年度 神奈川県立新羽高等学校 副校長 亀田明広





新羽地域ケアプラザでは9月21日が「世界アルツハイマー月間」であることから、9月～11月の間「認知症について知って考える」オレンジの輪プロジェクトを実施しています。新羽地区社会福祉協議会もそのプロジェクトに合わせ、花の里づくりの会のご協力のもとマリーゴールドの花苗を190鉢用意しました。そして以下のプログラムの来場者にプレゼントし、認知症の理解や誰もが安心して暮らせる町づくりを呼び掛けました。

9月13日(土) 10時～/13時半～ ドキュメンタリー映画「99歳の母と暮らせば」上映会 約90名

9月16日(火) 13時～ オレンジカフェ×Sカフェ(新横浜若年性認知症の人と家族の会) 約40名

9月20日(土) 13時～ 横浜市総合保険医療センター精神科医清水先生に聞く「治療と予防」 約50名

マリーゴールドの花とともに、認知症のこと、地域の啓発活動のことを知ってもらえるように願っております。



シンボルカラーのオレンジの花として新羽の街にマリーゴールドが定着してきました。今年はさらにボランティアの方々にタグを作っていただき、花苗に添えて渡しました。タグの裏には新羽地区社協ホームページQRコードを載せました。



新羽の未来をつくる会



新羽町連合町内会と新羽地区社会福祉協議会の後援のもと活動している「新羽の未来をつくる会」は、平成27年に発足しました。主な活動は花の里づくりの会よりご提供いただく花の苗を、高架下のプランターに植えて町を明るくする活動です。日々、ボランティアの方々が水やり等の管理を行い、かわいい花々が道行く人の心を和ませてくれています。また地域の保育園児と交流をしながら、年に数回行う植え替えは、自然が少なくなり土遊びなどをするのが少なくなった子どもたちの草花に触れるとても良い機会になっています。土を触って喜ぶ子、ミミズに夢中になってしまう子、子どもたちの五感が刺激される様子を見ているこちらも嬉しくなります。

これからも明るく美しい花とともに、新羽の町の明るい未来につながるような活動を続けてまいります。地域の皆様もぜひ、プランターに植えられた愛らしい花々を愛でに来てください。



ご挨拶

会員、関係各所皆様様に於かれましては日頃よりご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。当山もお陰様で花木に囲まれた環境下で護寺に勤めさせていただいております。

さて、当山では11月に十夜会なる法要を全檀信徒皆様にご参詣いただき厳修しています。ちょうどその頃は葉が色着くまでには至っておらず境内が物寂しく感じる時期であります。ある方から「十夜も近いし境内には色が無くて寂しいから“パンジー”を植えてはどうか」とパンジーを頂く事となりました。それから毎年十夜会になると色とりどりのパンジーがご参詣下さる方々をお迎えするに至りました。長い期間冬の寒さも耐え凌ぎ春を越してもなお夏頃まで私たちを楽しませてくれています。

パンジーの花言葉は「思慮深さ」「あなたのことを考えている」また色によって違うようで、

紫色・・・「誠実さ」「揺るぎない魂」

黄色・・・「つつましい幸せ」「田舎の喜び」

オレンジ色・・・「天真爛漫」「たのしい気分」

青色・・・「純愛」「誠実な愛」

白色・・・「温順」「心の平和」

赤色・・・「思い出」

また、お花がもたらす効果に気分高揚、モチベーション向上などが得られるようです。結びに、増々健やかに過ごされます事念じております。 南無阿弥陀仏 合 掌

花の里づくりの会 顧問 専念寺 大谷正元



花の里づくりの会は、「ふるさとに花木を植えて、潤いと特色のある地域づくり」を目指して、平成16年に発足しました。以来、自然豊かな新羽の寺や神社、新羽丘陵公園、学校などに、それぞれ特色のある花木を植えてまいりました。本会では、趣旨にご賛同いただける新たな会員を募集しております。尚、本会は会員の皆様の会費で運営しております。お問い合わせがありましたら、事務局（下記参照）までご連絡ください。皆様のご協力をお待ちしております。

花の里づくりの会 会報第22号 2026年5月発行

発行者／花の里づくりの会 会長 米山 幸

お問合せ先／事務局 中山憲治 TEL 090-3099-1418

印刷／有限会社 田丸文林堂

花の里づくりの会 案内図

